

会場やアンケートからの主なご意見	市議会から
<p>① 「市民と議会の交流ミーティング」という名目なのだから、議員への質問から始めるべきではないか(会の持ち方として報告よりも市民からの意見を中心にすべきだ)</p> <p>② 行政に対する調査権、監督権、監査権をもっているのが議会なので、市長が収賄事件を起こす・それを監理、監督する権限は議会にある。その責任を果たして欲しい。 また二元代表制の話もされたが、議会と市長は対等であると思うので、それが果たされるよう議会の機能を高めて欲しい。</p> <p>③ メガソーラーに関しては、規制条例を可決した議会として、その条例で止められないなら、条例の修正や他の法令、他の方法も使って建設を止めて欲しい。現地が現在どうなっているのか、議会として現地視察を是非やってほしい。メガソーラーは絶対阻止して欲しい。</p>	<p>① 初めての議会報告会ということでしたので、まず議会について知ってもらう目的がありました。チラシにも「議会の役割や議論の内容などを報告した上で、皆さんのご意見も伺うべく市民と議会の交流ミーティング」を開くという趣旨を謳っています。議会の役割や各常任委員会、特別委員会の報告をすることもお知らせしてありましたが、皆さんのご意見を伺う時間が十分取れず、双方向の意見交換があまりできなかつたことは大きな反省点です。今後は議会報告会の持ち方について、様々な方法を検討していきたいと思います。</p> <p>② 「議会のもつ権限」が報告会の資料にもありましたが、これは警察や検察のような権限ではなく主として市政における事業についての調査や監視であり、収賄といった犯罪への対応としては限界があります。また調査権は議員個々にはなく議会としてもっているものであることから、その調査権の一環として、今回「土地取得に係る監視機能強化特別委員会」を立ち上げ、当局に土地取得に関する資料請求をし、収賄事件の原因分析をし、再発防止策を提言するという活動をしています。土地取得にとどまらず、今後も発展的な活動を検討していきます。一方、この土地取得に関しても、議会がどのようなチェック機能を果たしていたのかという点を精査することは重要です。今後は更に、予算（議案）の可否を十分調査できる仕組みづくりも検討し、しっかり議決権の行使ができるよう研究していきます。</p> <p>③ 議会としては建設に対して反対決議を議決しましたが、これは地域住民の賛成がなければ反対していくというものです。また議会としては要望書も作り、県知事や各省庁にも要望に行っています。現地での現在の工事については市長が条例に抵触するという見解なので、議会としてはそれに</p>

同調し、市の対応をしっかりとチェックしていきます。一般質問などでは、繰り返し市の対応や現状について取り上げられてきましたが、景観計画と水道水源保護条例の修正も提案され、改定に向けた検討が始められています。議会としての現地視察については、2月8日に実施いたしました。



- ④ 人口減少、高齢化などのなかで、このまちをどうやって発展させるのか、真剣に考えて欲しい。周囲の市町の良さにも学んでほしい。熱海市では3年間予算があり、事業の実行に無駄がないので伊東市でも考えたらどうか。
- ④ 熱海市では「観光ブランドプロモーション」という事業を民間業者に委託する際、3年間の契約をした例があるということです。個別の事業では伊東市も建設事業などで「債務負担行為」という形で、数年にまたがる予算も日常的に組まれています。観光分野でもこうした継続的な事業予算が有効と考え、31年度予算には、そうした計画も出されています。
- ⑤ 行政も市民も伊東をなんとかしたいと願っているので、市議会のメンバーも2、3人でチームを作り得意分野の会合があるときに一緒に議論して欲しい。商工会議所・旅館組合・観光協会及び行政、議会と一緒に議論する場ができないか
- ⑤、⑥ 官民連絡会議は商工会議所・旅館組合・観光協会などの経済団体からの要望で30年度4月から始められ、本市の中長期的な産業ビジョンを考える会議であります。当初から議員をメンバーに入れる考えはなく始まったそうです。ご意見のように産業・観光振興を官民一体となって真剣に考える場は大変重要と思います。議会側でもぜひ具体的に意見交換や学習の場を提案していきたいと思います。
- ⑥ 市がやっている官民連絡会議に議員がなぜ参加していないのか。
- ⑦ 市議会の放送は手話通訳も字幕もなく、難聴者には市政の情報が届きにくい。何とか平等に情報が届くような方法を考えていただきたい。
- ⑦ 本会議で毎回手話通訳をするのは難しいですが、インターネットでの中継放送では、YouTubeを使用しており、設定によって字幕が出ます。十分正確な字幕とは言えませんが、一般質問などは大筋内容が掴めると思います。(ケーブル

<p>⑧ 図書館や文化ホールの建設計画があるが、本当に箱物が必要か、どのくらいお金を掛けるべきか。教育現場で障がい児への介助など1、2年しか予算がつかない、現場の先生の疲弊もあり、そちらにお金を回してもらえないか</p> <p>⑨ 「地域おこし協力隊事業」はなぜ観光建設委員会付託でなかったのか、理由を知りたい。</p>	<p>テレビの放映は民間業者の自主事業のため、字幕を入れるのは難しいです)ホームページの会議録検索システムをご利用いただくと本会議場の発言は網羅されているので有効と思います。</p> <p>⑧ 今後、建設計画が具体化されていく過程で原点に戻って考えてみる視点として参考にさせていただきます。今後の子どもの減少、学校統廃合の問題もあり、公共施設建設は慎重に行うべきと考えます。</p> <p>⑨ これは総務省の事業で、人口減少や高齢化が進む地方に他の地域(都市部など)から、産業やまちづくりなどの活性化に取り組んでくれる意欲的な人材を募って移住・定住してもらおうというもので、移住政策でもあることから、総務委員会で審議しています。</p>
--	--